

乳幼児期家庭教育学級

にじっ子

🌸🍄🎃🍂🍄 「しつけ」ってどうすればいいの？ 🌸🍄🎃🍂🍄

「おもちゃのかたづけをしよう」と声をかけても「いやだ」と言っておもちゃを投げる。椅子に乗るとびはねて危ないので「椅子の上に乗っちゃダメ」と言うと、余計にピョンピョンはねる。食事をさっさと食べてほしいのに、遊びながらダラダラ食べるなど困っていませんか。人に迷惑をかけないで公共の場でも正しい行動ができるために、いつ・どうしつけをしたらいいのでしょうか。NHKの「すくすく子育て」では以下のように放送していました。参考にしてみてください。

<本格的なしつけは4歳を過ぎてから>

2歳まではまだ分からない。4歳ごろから自我が発達して人が自分のことをどう見ているか気になり始める。その頃はしつけがすごく入りやすい。

<しつけの前に「親子の温かい関係作り」を>

子どもがよくないことをした時には大人はよく気付く。しかし、「何気なくやったこと」や「がんばってやったこと」には気づきにくい。言葉にして伝えることが大事。一日5分間、子どもと遊ぶ時間に意識的に子どもに声をかけてみては？以下はその時の3つのポイント。



① 具体的にほめる

「積み木を分けてくれてありがとう」
「ぬいぐるみをお片付けできてえらかったね」

② 会話を繰り返す

子：「これ僕の本棚」
親：「そうだね〇〇ちゃんの本だね」
きちんと受け止めて返す

③ 行動を言葉にする

「お人形をなでているんだね。」
「いすに座っているね。」
子どもががなにげなく、ふつうにしている事を言葉で表現する

子どもは気づいてもらえていることで安心する。子どもにとって「遊び」は何よりも大事。親と子の間に信頼関係があって、初めてしつけができる。子どもができたことを認めるのもしつけである。

<言葉が通じない子どもへのしつけはどうしたらいいの？>

かみついた子には「〇〇ちゃん、本当はこれを取られたくなかったんだよね」と共感してあげる。すると脳に共感された喜びの回路ができる。その回路を人に対して使い始め、やがて、「かんだら痛いかな」と分かってくる。2歳まで共感を繰り返してあげ、他人のことを考える力がついてくると、共感された喜びの回路が他者へ使えるようになる。

(文：佐藤 裕子)

ほっとさんの教え (臼杵市家庭教育10か条)の中から

⑥ ほめると 子どもは自信を持って行動するよ

「椅子の上に乗っちゃダメ」と否定するのではなく、「椅子から降りて」とやるべきことを伝えると分かりやすいそうです。その後「落ちたら痛いからね」と理由を伝えましょう。今のうちは、まず共感して、いい関係づくりをしていきましょう。





にじっ子ひろば

2019・11・14

「お弁当箱のうた」

これくらいの おべんとうばこに
 おにぎり おにぎり ちょっとつめて
 きざみしょうがに ごましおふって
 にんじんさん さんしょうさん
 しいたけさん ごぼうさん
 あなのあいた れんこんさん *ぞうさんのお弁当箱
 すじのとあった ふうき *ありさんのお弁当箱



時間	活動内容
9:30~	臼杵石仏集合 受付
10:00	ごあいさつ トトロの体操「さんぽ」 親子ふれあい遊び
10:30	臼杵石仏見学 散歩もかねて
11:20	休憩
11:30	歌「お弁当箱の歌」 おにぎり弁当を食べよう
12:10	かたづけ
12:20	体操「手のひらを太陽に」
12:30	さようなら

◎次回は「家族参観日（親子遊び）」

11月24日（日）受付9:30~ 開始10:00

場所：ほっと館多目的ホール

持ち物：出席ノート・水筒・着替え・タオル・など

問い合わせ：公民館63-6444 佐藤

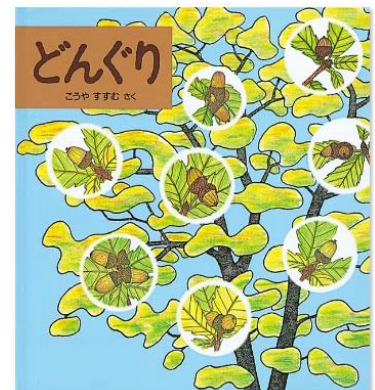


おすすめ絵本

『どんぐり』

こうや すすむ：作 福音館書店

この絵本には、「どんぐり」の1年間や種からどのように成長していくのかが描かれています。一口に「どんぐり」と言っても、いろいろな種類があることは形を見るとわかりますね。「どんぐり」を拾った時に、ぜひ子どもさんと一緒に読んで欲しい科学絵本です♪



『森の工作図鑑 vol.1』

どんぐり まつぼっくり』

『森の工作図鑑 vol.2 落ち葉』

岩藤しおい いかだ社

「秋」って、いろいろなことができる良い季節です。ちょっと散歩をすれば、木の実や落ち葉をたくさん拾うことができます。それらを使ってできることが、実はたくさんあるんです！！ わざわざおもちゃを買わなくたって、自然の恵みで遊びませんか？



二冊とも、こども図書館所蔵です。予約もできます。市営駐車場の無料券(二時間分)もらえます

